



令和2年度 第2回高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議（令和3年2月26日）

青森県の取り組み

青森県健康福祉部障害福祉課

- 1 青森県の概要
- 2 障害者施策における
高次脳機能障害支援の位置づけ
- 3 青森県における支援の取組
- 4 青森県における支援拠点機関
- 5 各支援拠点における取組
- 6 コロナウイルス感染症に伴う事業への影響



1 青森県の概要

○人口総数 約123万人(R2.10.1推計)

○市町村数 40市町村

○障害保健福祉圏域 6圏域

- 青森圏域(約29.3万人)
- 津軽圏域(約27.6万人)
- 八戸圏域(約30.7万人)
- 西北五圏域(約12.0万人)
- 下北圏域(約6.8万人)
- 上十三圏域(約16.7万人)



2 障害者施策における高次脳機能障害支援の位置づけ

○施策の柱と事業の位置づけ



「第3次青森県障害者計画」

(「だれもが、どこでも、自立し、安心して暮らせる共生社会をめざして」)

—2013年度～2022年度—

2019年3月改訂

青森県

- 母子保健対策の充実
- 周産期医療体制の整備
- 精神保健福祉対策の推進
- こころの健康づくりの推進
- 高次脳機能障害者対策
- 認知症疾患対策の推進
- 障害のある子どもなどに対する相談・療育の充実
- 難病疾患対策の推進

3 青森県における支援の取組

(1) 青森県における事業の概要

都道府県が指定する高次脳機能障害者支援の拠点となる機関(支援拠点機関)において、高次脳機能障害に対する専門的な相談支援、関係機関との支援ネットワークの充実、高次脳機能障害の正しい理解を促進するための普及啓発、研修等を行うとともに、適切な支援体制を整備する。

【支援普及啓発事業パンフレットより(表面)】

青森県ではこんな仕組みを作りました

発症・受傷前と何が違う…
困ったな…
どうしたらいいのだろう…
わからないな…

このような事が起こったらご連絡下さい
※ご本人・ご家族などなたでも結構です

- 高次脳機能障害の有無を調べる事が出来ます
- 制度・社会資源の説明・紹介をします
- 困りごと相談を受け付けます
- 各関連機関との連絡調整を行います

青森県高次脳機能障害支援普及事業

相談支援のための委員会開催 → ご本人・ご家族 → 適切な支援体制の整備

保健所 → 高次脳機能障害支援拠点機関

相談支援普及啓発研修事業 → 福祉施設 → 医療機関 → 就労関係 → 就学関係

市町村

高次脳機能障害支援コーディネーター拠点機関のスタッフが各種お手伝いいたします

ご本人・ご家族の他支援に困っている方々が対象です

青森県高次脳機能障害支援拠点機関

弘前脳卒中 ・リハビリテーションセンター 住所：弘前市大字扇町一丁目2番地1 TEL：0172-28-8220 FAX：0172-27-9013 E-mail：koujinou@reimeikyou.jp	メディカルコート八戸西病院 住所：八戸市長苗代字中坪77番地 TEL：0178-28-5252 FAX：0178-28-6253 E-mail：koujinou@sg-silver.or.jp
--	--

高次脳機能障害

支援のためのガイド

青森県

3 青森県における支援の取組

【支援普及啓発事業パンフレットより(裏面)】

**行政で定義する
高次脳機能障害とは**

頭部外傷、脳卒中、脳炎
などの病気の後で...

身体障害者
知的障害者 精神障害者

どの障害者手帳にも該当しない!?

しかし

記憶障害
注意障害
遂行機能障害
社会的行動障害

ひとつでも症状のある方

こんなことで困っていませんか

【記憶障害】

- ・約束を守れない、忘れてしまう
- ・大切なものを、どこにしまったかわからなくなる
- ・何度も同じ質問を繰り返す

【注意障害】

- ・気が散りやすく物事に集中できない
- ・一度にふたつ以上の事に気配りできない
- ・同じミスを繰り返す

【遂行機能障害】

- ・計画を立てられない
- ・効率的に仕事や家事がすすめられない
- ・物事の優先順位をつけることができない

【社会的行動障害】

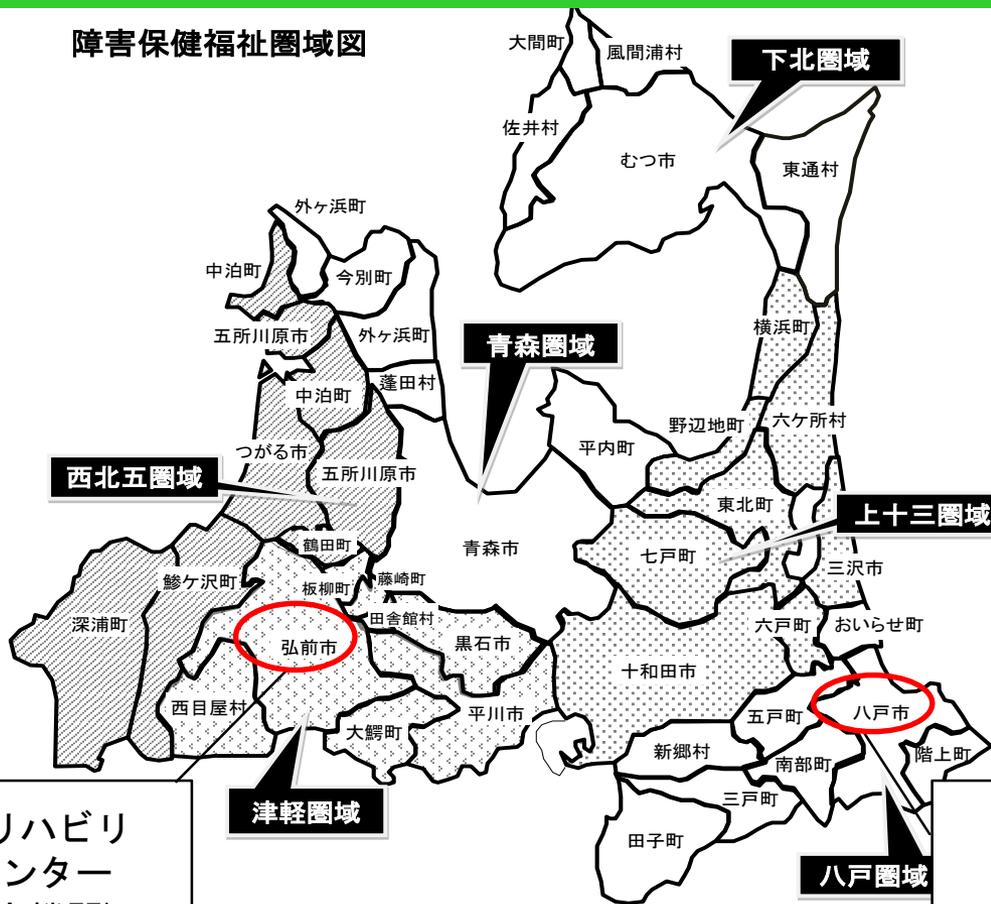
- ・すぐ怒ったり笑ったり、感情のコントロールができない
- ・無制限に食べたりお金を使ったり、欲求が抑えられない
- ・他人につきまとして迷惑な行為をする

(2) 事業実施状況の概要

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
拠点箇所数	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所
相談件数	391件	461件	408件	535件	578件	432件	444件

4 青森県における支援拠点機関

障害保健福祉圏域図



弘前脳卒中・リハビリ
テーションセンター
(H21～支援拠点機関)



メディカルコート
八戸西病院
(R1～支援拠点機関)



5 各支援拠点機関における取組

【弘前脳卒中・リハビリテーションセンター】

事業内容

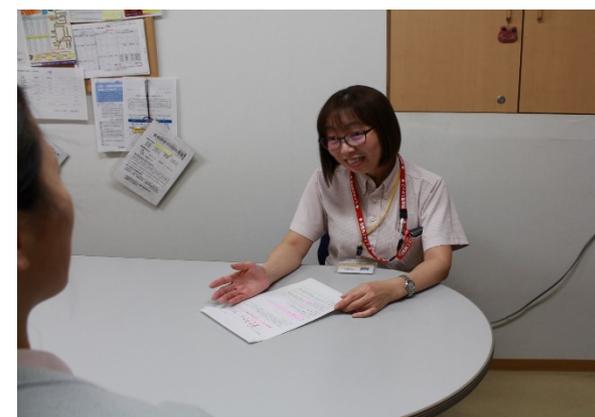
- ・ 相談支援事業（就労支援、診断・治療、支援体制構築や家族会支援、その他）
- ・ 普及・啓発事業（講義実施、パンフレット配布、家族等向けラウンジの開催）
- ・ 研修事業（医療・福祉・教育担当者向けの講習会、障害者及び家族向け研修会）
- ・ 検討委員会の設置
（医師、保健師、家族会、教育機関、行政機関、職業カウンセラー）



【家族会交流会】



【作業療法の様子】



【相談支援の様子】

5 各支援拠点機関における取組

【メディカルコート八戸西病院】

事業内容

- ・ 相談支援事業（就労支援、診断・治療、支援体制構築や家族会支援、その他）
- ・ 普及・啓発事業（医療機関関係者、施設関係者、一般向けの研修等）

【研修会の様子】



当院の課題

課題①

- ・ 県南地域において高次脳機能障害支援普及事業の周知がまだまだ低く、支援者・関係機関含め、障害に対する理解や支援策が乏しい。
- ・ 関係機関等との関係作りを構築しようとした矢先にコロナ禍となり、電話でのやりとりしかできず、伝わりにくい。

課題②

- ・ 事業開始から2年と経っておらず、支援コーディネーターの力量不足により、スムーズな支援・連携が行えない。

6 コロナウイルス感染症に伴う事業への影響

(1) 相談支援事業

○影 響

- ・ 相談件数は例年より確実に減少、特に新規相談の減少が大きい。
- ・ 来院相談については、外来・入院とともに施設での統一した感染対策を行っていること、また漠然とした感染の可能性を危惧してか、減少傾向にある。
- ・ 電話相談は通常どおり受け付けているが、ざっくばらんに話を聞いて欲しい家族や、障害や境遇を理解し共感してもらいたい方が電話するのを躊躇している様子あり。
- ・ 家族会活動も制限されており、ストレスを吐き出す場が求める声があり。

○対 応

- ・ 感染症対策に配慮しつつ現状の相談対応体制において丁寧な対応を心掛ける。

6 コロナウイルス感染症に伴う事業への影響

(2) 普及・啓発事業

○影 響

- ・ 講義及び支援方法等情報提供については、実施回数がかなり減少。
- ・ 障害者・家族等向けラウンジについては中止。

○対 応

- ・ 県が実施する、障害者施策の事業におけるイベント（コロナウイルス感染症対策に配慮し実施）においてパネル展示、リーフレット配布。
- ・ 普及啓発動画の制作、支援拠点ホームページへの掲載
※高次脳機能の知識を多くの方に伝えるために、平易な説明による短時間（5～6分程度）の内容とした。

6 コロナウイルス感染症に伴う事業への影響

(3) 研修事業

○影 響

- ・ 県全域対象の講習会は中止。
- ・ 支援者向けの研修会を人数制限を設けて実施。

○対 応

- ・ 家族会等関係者に向け、オンラインによる研修会を実施。

(4) 検討委員会

○影 響

- ・ 委員招集による会議開催の制限。

○対 応

- ・ W e b 会議、紙上会議により会議を開催。